

人工知能未来農業創造プロジェクト “ai tomato(あいとまと)”の展開

日 時 令和3年 1月26日火
13:00～16:00

場 所 オンライン開催 資料代 1,000円

定員
100名

開 催 趣 旨

農林水産省の委託プロジェクト研究（人工知能未来農業創造プロジェクト）の「AIを活用した栽培・労務管理の最適化技術の開発」（2017年度～2021年度）では、愛媛大学を代表機関として8法人でコンソーシアムを構成し、太陽光植物工場への実装を前提とした多元的植物生体情報計測技術の開発と植物生体情報に基づいた環境制御・労務管理の最適化技術の開発を進めてきた。本セミナーでは、このプロジェクトのこれまでの研究開発成果（汎用化しつつあるAIの農業生産技術への応用のあり方）を報告するとともに、その後の社会実装の方向性について検討する。

▶▶ 次 第

総合司会：藤内 直道（愛媛大学大学院農学研究科・植物工場研究センター 助教）

第一部：“ai tomato(あいとまと)”の研究開発成果

- 13:00 開会の挨拶 有馬 誠一（愛媛大学植物工場研究センター長、愛媛大学大学院農学研究科 教授）
13:05 「実装が進む高精度植物生体情報計測技術」 高山 弘太郎（豊橋技術科学大学EIRIS・愛媛大学大学院農学研究科 教授）
【光合成計測チャンバーやつり下げ型植物生体画像情報計測ロボットの開発の経過と太陽光植物工場への導入・活用の状況について報告するとともに、汎用的AIの実装例について紹介する。】
13:35 「あさい農園におけるスマート農業の取り組み」 浅井 雄一郎（株式会社浅井農園 代表取締役）
【あさい農園では、品種開発から生産・流通まで独自のバリューチェーンを構築しており、また生産性向上を目的とした光合成チャンバーやクロロフィル計測等の見える化や収穫ロボットや自動搬送ロボットの開発などスマート化の取り組みについて紹介する。】
14:10 「植物工場における労務の見える化」 永野 武史（凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部 事業戦略本部 課長）
【植物工場の重要な課題である労務の最適化。そのためには、労務の見える化が必須です。太陽光植物工場における労務の見える化の取り組み事例と最適化の適用状況について紹介する。】
14:40 「データ駆動型農業概論—AIを活用した栽培・労務管理のトライアルー」 西原 立（PwCあらた有限責任監査法人 ディレクター）
【気温や湿度等の環境データ、光合成や画像処理による植物生育データ等、栽培現場で取得される多くのデータをどのように栽培管理に活用していくのかについて、ポイントを整理し解説する。また、高精度植物生体情報に基づいた栽培管理の実践について紹介する。】

第二部：“ai tomato(あいとまと)”の展開

- 15:15 パネルディスカッション【AIを活用した栽培・労務管理の最適化技術の開発】の成果の今後の社会実装の方向性について検討する。
座長（Organizer）：北川 寛人（PLANT DATA株式会社 代表取締役CEO）
パネラー（Panelists）：浅井 雄一郎（株式会社浅井農園）、永野 武史（凸版印刷株式会社）、西原 立（PwCあらた有限責任監査法人）、高山 弘太郎（豊橋技術科学大学EIRIS・愛媛大学大学院農学研究科）

15:55 閉会

主 催

一般社団法人日本施設園芸協会、愛媛大学植物工場研究センター、豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター（ReCAB）、豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所（EIRIS）

後 援

日本生物環境工学会東海支部、日本生物環境工学会生物生体計測部会、「知」の集積と活用の場産学官連携協議会スマート・メガスケール植物工場研究開発プラットフォーム、CIGR（国際農業工学会）Plant factory and intelligent greenhouse WG、ai tomato（植物生体情報とAIによる太陽光植物工場における農作物生産の最適化共同研究機関）、愛媛大学社会連携推進機構研究協力会スマート農業研究部会

事務局

愛媛大学植物工場研究センター、豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所

問い合わせ先

愛媛大学植物工場研究センター人材育成プログラム（担当：神野・間宮）
☎ 089-946-9805 E-mail: zinzai@agr.ehime-u.ac.jp

お申込みは
こちら

お申込みフォームURL

<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo1/mpmailec/form.cgi>

参加申込フォームより、お申し込みください。折り返し、受講料のお振り込み方法をメールにてご案内いたします。
お振り込みの確認が取れましたら受付完了メールを送付いたします。講義前日までに、講義資料とweb受講URLのご連絡をいたします。

